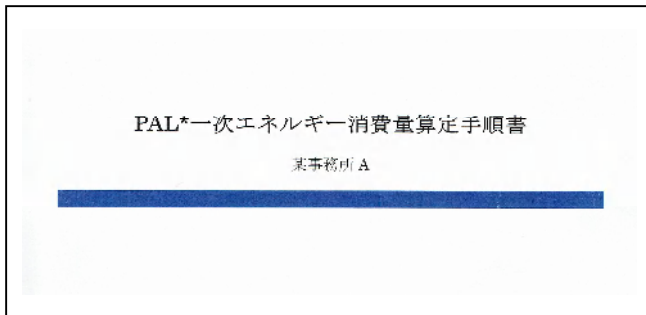


# PAL\*一次エネルギー消費量算定講習会受講案内書

インターネット（Googleハングアウト）による全15回の講座



ゼロエネルギービル(ZEB)<sup>\*1</sup>は、「エネルギー基本計画」(2014年4月閣議決定)において2020年までに新築公共建築物等で、2030年までに新築建築物の平均でZEBを実現することを目指す政策目標の設定(実質義務化)がなされています。

ZEB認定の取得に必要とされているPAL\*一次エネルギー消費量算定計算は設備に関する計算と用途によっては外皮性能を高める(外断熱)が必要になります。

しかしながら、登録されているZEBプランナーの登録者は少なく、国や企業からの要望、ニーズは高いものです。設備と設計を同時に考えるZEBプランナーになるためには、国交省「PAL\*一次エネルギー消費量算定用WEBプログラム」を使いこなす必要があります。

今回の講習会は、「PAL\*一次エネルギー消費量算定用WEBプログラム」を使いこなすための入力実習や理論、背景等を学びます。

講義は、国交省「PAL\*一次エネルギー消費量算定用WEBプログラム」(モデル建物法入力支援ツール) <http://model.app.lowenergy.jp/> を開きながら、信州大学工学部建築科 浅野研究室と指定会場(日本外断熱協会事務所、職場、学校、団体事務局等)を結び「Googleハングアウト」(テレビ電話)による講習を行います。

## PAL\*一次エネルギー消費量算定セミナー



信州大学工学部UFO内  
省エネテラス協議会(浅野研究室)

毎週火曜日  
18:00~19:30



Google ハングアウト  
SMS、音声通話、ビデオハングアウト

受講先(教室)  
特定非営利活動法人 日本外断熱協会(JAEI)  
東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館407  
17:00受付 17:30 までに受講準備完了



又は、団体、企業事務所で  
インターネット環境があること。  
参加者は原則5名以上とする。



各自ノートPC持参

PAL\*一次エネルギー消費量算定講習  
モデルとする建築の設計データ  
を講師が提供し、googleハングアウト  
を使用して信州大学から解説を行う。  
独立研究法人建築研究所のWEB  
プログラムを用いてPAL\*を算出し、  
その性能値を検証する。  
そのうえで、効率化設備のレイアウト  
を計画し、消費エネルギーを算出する。

- 1.受講者には、計算例や図面等が入ったCDを配布します。市販していません!
- 2.仕事や家庭の用事で受講出来ない日があっても、「Googleクラウド」や「Youtube」で後から講義内容を確認出来ます!! 4/24(火)~8/7(火) 全15回(22.5h)

# 何故、PAL\*一次エネルギー消費量算定が必要か！

ゼロエネルギービル(ZEB)※1は、2020年までに新築公共建築物等で、2030年までに新築建築物の平均でZEBを実現することを目指す政策目標の設定（実質義務化）がなされています。

Q. 既存建築物のPAL\* 計算は必要ですか？

A. 新築、既存建築物を問わず、PAL\* の基準を満足することが要件となることから、建物外皮性能の向上が必須となります。申請書にはPAL\* 計算書を添付して下さい。

ZEB認定の取得に必要とされている「PAL\* 一次エネルギー消費量算定計算」は、設備に関する計算と同時に、外皮性能を高める(外断熱)が必要になります。

「PAL\* 一次エネルギー消費量算定計算」により、ZEB Ready以上の建物に対して、補助金が費用の3分の2、上限3億円が補助されます。

Q. 本事業に申請できるZEBはどれですか？

A. 今回の事業では、ZEB Ready以上となります。

しかしながら、登録されているZEBプランナーの登録者は少なく、国や企業からの要望、ニーズは高いものです。設備と設計を同時に考えるZEBプランナーになるためには、国交省「PAL\* 一次エネルギー消費量算定用WEBプログラム」を使いこなす必要があります。

今回の講習会は、「PAL\* 一次エネルギー消費量算定用WEBプログラム」を使いこなすための入力実習や理論、背景等を学びます。

受講を終えられた方は、実務設計者として進まれる方と講習会で学んだ知識を活用してZEB補助金活用アドバイスをすることで公共建築物や病院等の営業に生かすことができます。

## ZEB実現に向けた先進的省エネルギー建築物実証事業

中小規模の建物のエネルギー使用量が正味でほぼゼロになる建物（ZEB）の実現に資する低炭素化設備等を導入する事業に対し、費用の3分の2、上限3億円を補助します。

申請者：建物の所有者（個人事業主も可）

### ▶対象となる建物要件

地方公共団体等の建物（面積要件なし）  
民間の業務用建物等（床面積2千㎡未満）

▶用途要件：事務所等、ホテル等、病院等、店舗等、学校等、飲食店等、集会所等

### ▶補助率と上限

補助率：3分の2  
上限額：3億円/年  
（2千㎡以上のZEB（地公体）は5億円/年）

### ▶事業実施期間

単年度（交付決定日～1月末日）  
2年度（交付決定日～初年度は2月末日、2年度目は1月末日）



### ▶要件（環境性能）

- 建物の外皮性能  
外皮性能設計値（PAL\*）が外皮性能基準値（PAL\*）を満足すること
- 一次エネルギー消費量  
一次エネルギー削減量が50%以上であること  
※その他、太陽光発電を含めない、コージェネ含む  
※WEBプログラムによる計算を行う

### ▶要件

- エネルギー利用の管理（BEMS装置等の導入）
- BELSを取得し、『ZEB Ready』以上を表示

### ▶補助対象経費

設計費、設備費（断熱、空調・給湯、換気、照明、再エネ、BEMS等）、工事費

# PAL\*一次エネルギー消費量算定講習会受講申込書

インターネット（Googleハンガアウト）による全15回の講座

## カリキュラムの構成・内容

回	開講日	担当	内容
第1回目	4月24日	高木 行政	講義「省エネ建築と環境」45分 講義「行政(仮)」45分
第2回目	5月8日	浅野	省エネ建築設計の学び方を説明する。テキスト及びDVDの使い方を説明する。その後1800㎡の事務所をサンプルとしてZEB化の演習を行う。最初はPAL*の算定を行う。建物概要と平面計画を把握する。入力シートを作成する。建築研究所のwebソフトで計算する。
第3回目	5月15日	浅野	各部屋の空調、換気、照明設備のレイアウトを検討する。機器入力シートを作成する。
第4回目	5月22日	浅野	エレベーター、効率化設備(ガスコージェネ、太陽光発電パネル)を検討し、入力シートを作成する。
第5回目	5月29日	浅野	当初の入力シート内容でZEB化が達成されたか検討し、不十分ならPAL*から見直す。
第6回目	6月5日	岩井 行政	講義「省エネ建築と環境」45分 講義「行政(仮)」45分
第7回目	6月12日	浅野	10000㎡の事務所をサンプルとしてZEBreadyを目指した演習を行う。最初はPAL*の算定を行う。建物概要と平面計画を把握する。入力シートを作成する。
第8回目	6月19日	浅野	PAL*の算定を行う。建物概要と平面計画を把握する。入力シートを作成する。
第9回目	6月26日	浅野	各部屋の空調、換気、照明設備のレイアウトを検討する。機器入力シートを作成する(1)。
第10回目	7月3日	浅野	各部屋の空調、換気、照明設備のレイアウトを検討する。機器入力シートを作成する(2)。
第11回目	7月10日	李 浅野	講義「省エネ建築とウェルネス」45分 各部屋の空調、換気、照明設備のレイアウトを検討する。機器入力シートを作成する(3)。45分
第12回目	7月17日	浅野	各部屋の空調、換気、照明設備のレイアウトを検討する。機器入力シートを作成する(4)。
第13回目	7月24日	浅野	エレベーター、効率化設備(ガスコージェネ、太陽光発電パネル)を検討し、入力シートを作成する(1)。
第14回目	7月31日	浅野	エレベーター、効率化設備(ガスコージェネ、太陽光発電パネル)を検討し、入力シートを作成する(2)。
第15回目	8月7日	浅野	当初の入力シート内容でZEBreadyが達成されたか検討し、不十分ならPAL*から見直す。

- 主催：特定非営利活動法人 日本外断熱協会（JAEI）  
省エネテラス協議会（信州大学工学部建築科 浅野良晴研究室）
- 後援：一般社団法人 東京建築士会/一般社団法人 日本建材・住宅設備産業協会
- 期間：平成30年4月24日（火）～8月7日（火）＊5月1日（火）を除く  
開会 17：30 開始 18：00 終了 19：30
- 費用：8万円（別途テキスト代 2,500円）  
主催団体及び後援団体所属会員は、5,000円割引、  
グループ割引（5名以上） 5,000円割引 主催者割引 別途
- 振込先 振込銀行：みずほ銀行 神谷町支店/ 口座番号：普通 8080210  
口座名義：トクヒ ソトダンネツスイシンカイギ（従来の口座名義です。）
- 会場：日本外断熱協会事務所(東京)及び 職場、学校、団体事務局等

**FAX・FAX・・・FAX・・・FAX・・・FAX・・・FAX・・・参加申込書・FAX・・・FAX・FAX・・・FAX・・・FAX・・・FAX・・・FAX・・・FAX**

- 受講会場  日本外断熱協会事務所 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 407  
 その他（都道府県名： 会場名： ）

会社名 団体名 (グループ)	役職名： (グループ名： )	TEL	
氏名	歳	FAX	
住所 〒 -	e-mail	PCで使用しているアドレス	

受付締切（予定） 4月16日（月） 参加申込みされた皆様には、定員を超えた場合のみ連絡をいたします。

特定非営利活動法人 日本外断熱協会 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 407 TEL03-3436-4755

参加申込書先 FAX 03-3436-0678(日本外断熱協会宛)/mail:[nfo@sotodan-npo.org](mailto:nfo@sotodan-npo.org)